

オカダアイオン株式会社 (東証一部 6294) 2021/3期3Q決算説明資料



会社概要（20/3月現在）



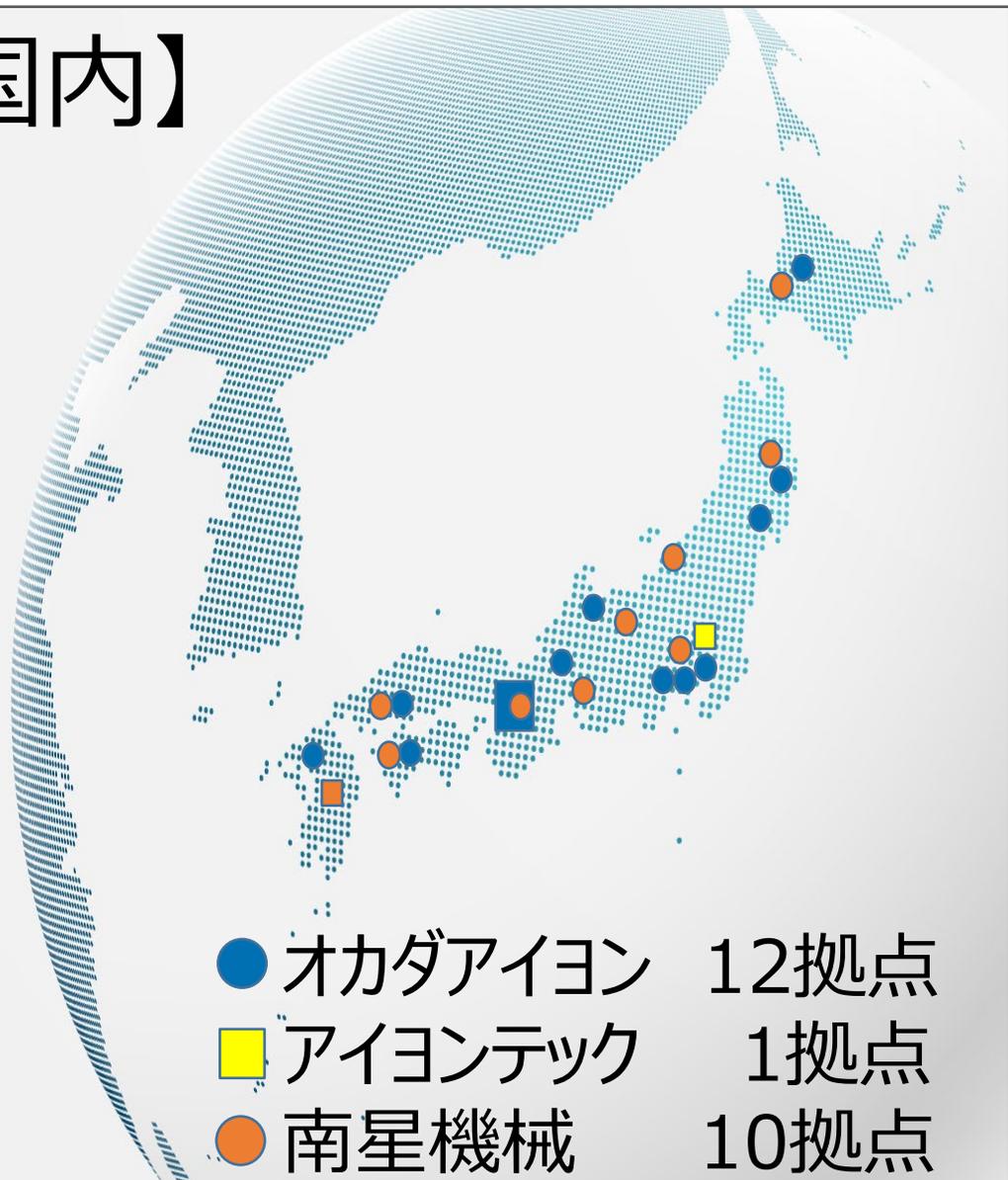
創 業	1938年7月（設立1960年）
事業内容	建設機械及び林業機械の製造、販売、修理
資本金	2,221百万円
従業員	442名（連結）
売上高	17,957百万円
拠 点 （グループ計）	国内21、海外5

本社外観（大阪市港区）

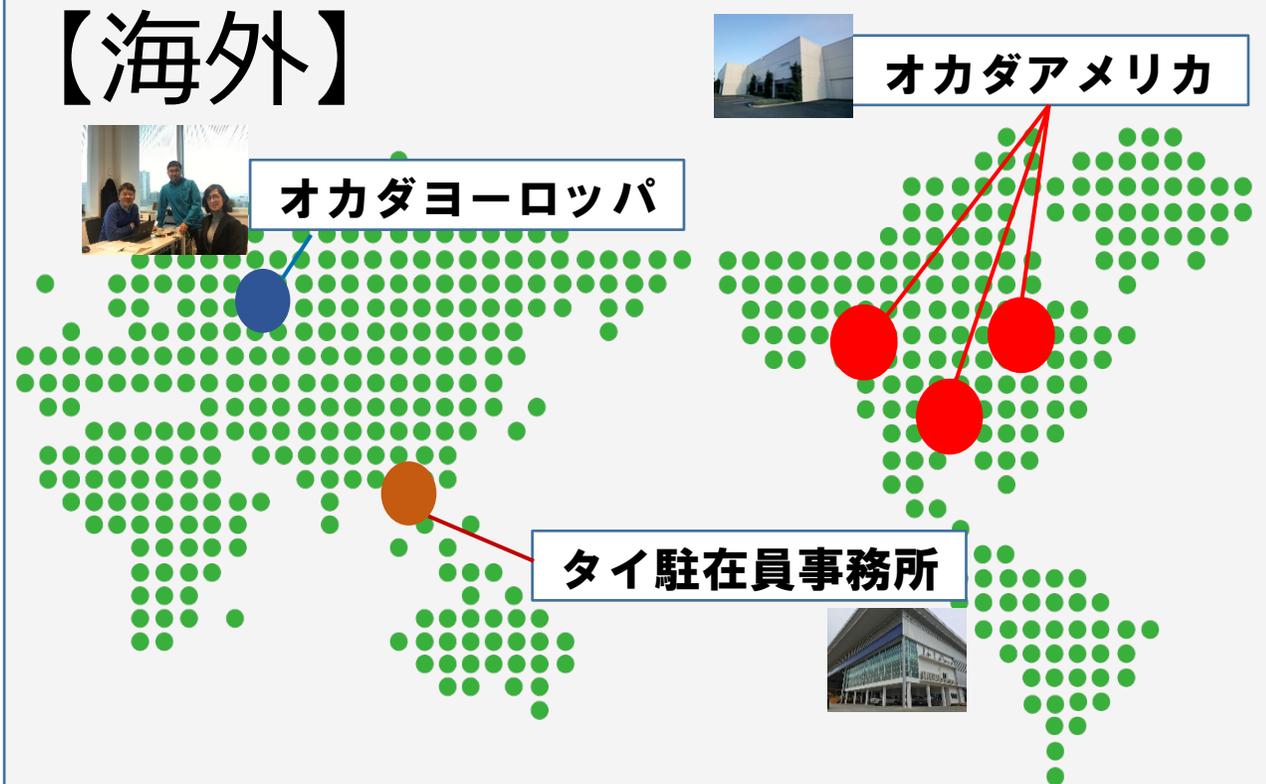


拠点

【国内】



【海外】



会社の歩み

1938 創業

1951頃
(鑿岩機工法)



1960頃 (大型エアブレイカ登場)



1970代後半 (圧砕工法登場)



1995
(阪神淡路大震災)



1992
大証二部上場

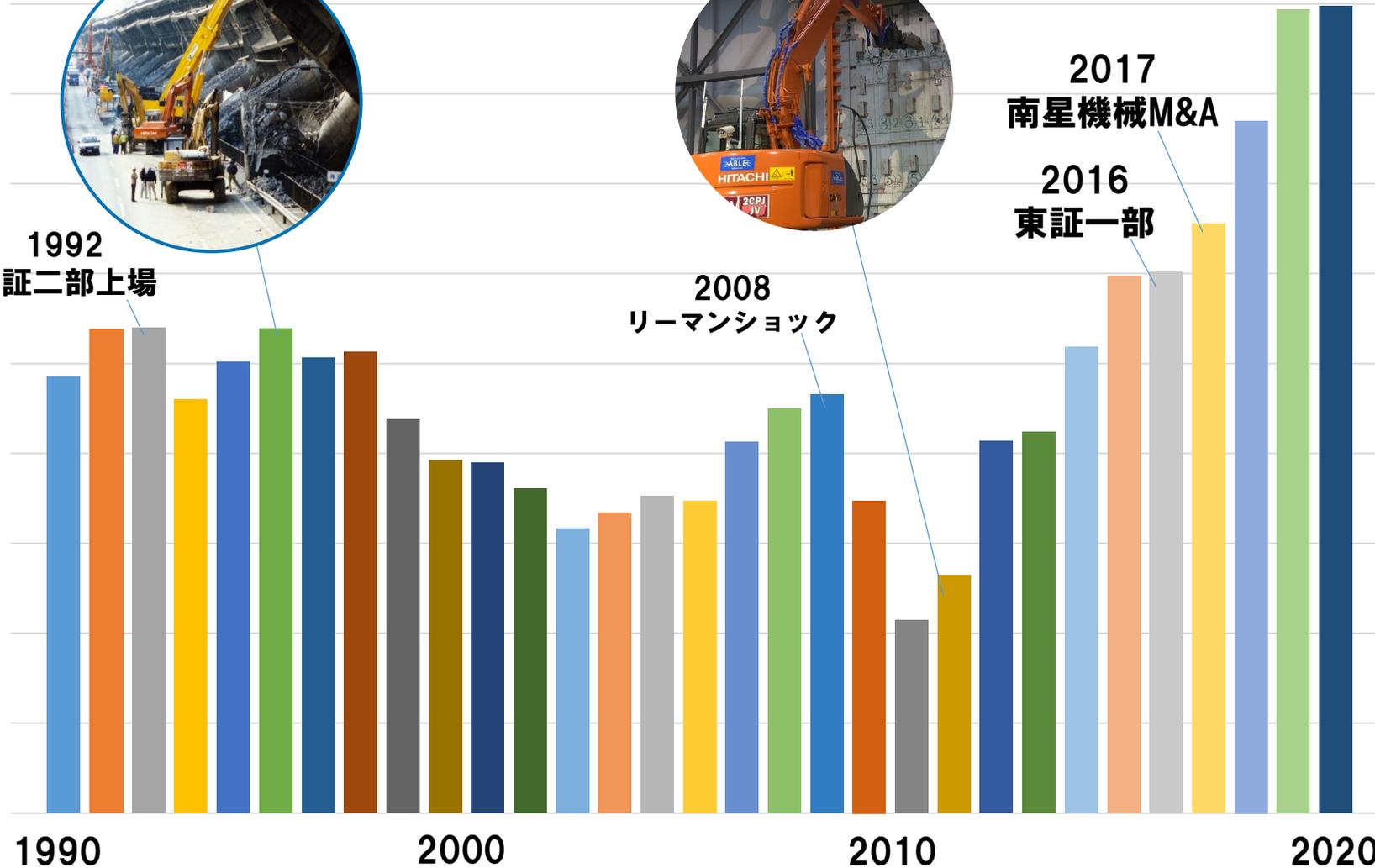
2011
(東日本大震災)



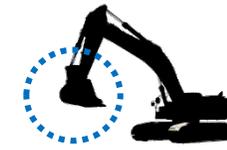
2008
リーマンショック

2017
南星機械M&A
2016
東証一部

直近30年
売上高推移

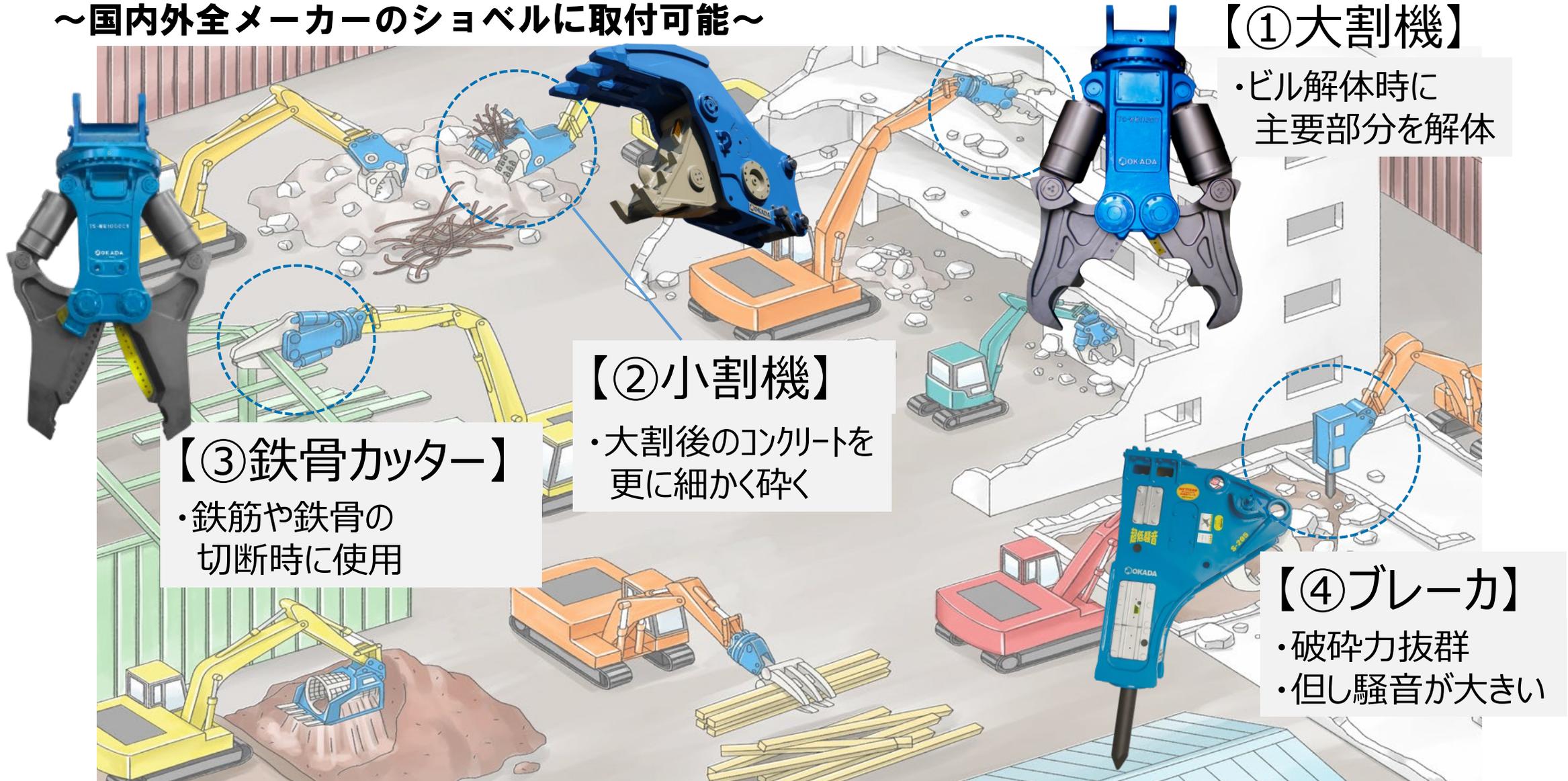


商品用途（アタッチメント）



OKADA

～国内外全メーカーのショベルに取付可能～



【①大割機】

- ・ビル解体時に
主要部分を解体

【②小割機】

- ・大割後のコンクリートを
更に細かく砕く

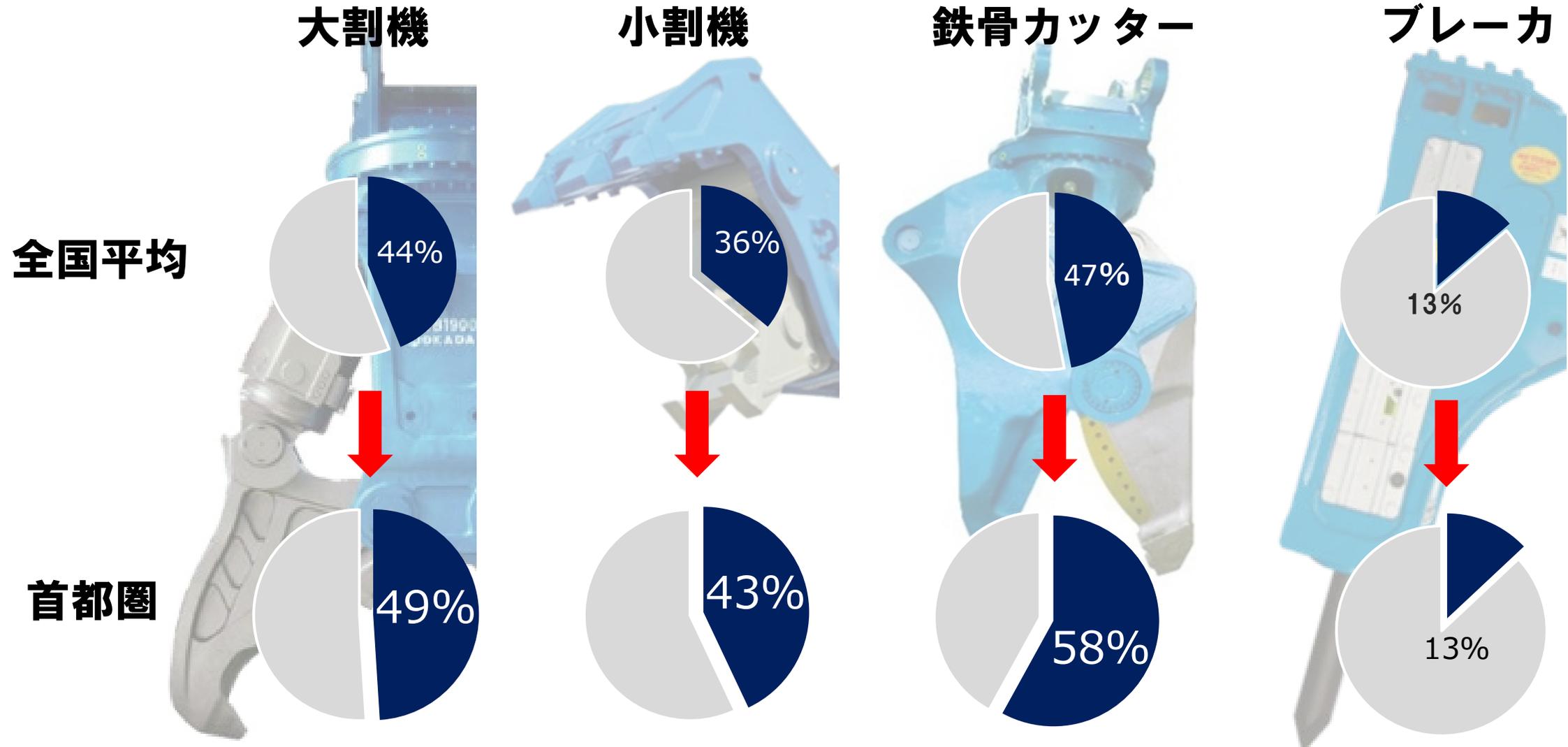
【③鉄骨カッター】

- ・鉄筋や鉄骨の
切断時に使用

【④ブレーカ】

- ・破砕力抜群
・但し騒音が大きい

主力商品シェア



商品用途（環境機械）



【中低速回転機】



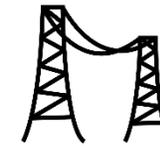
- ・大きな丸太から破砕可能
- ・東北震災時にはガレキ処理で活躍

【高速回転機】

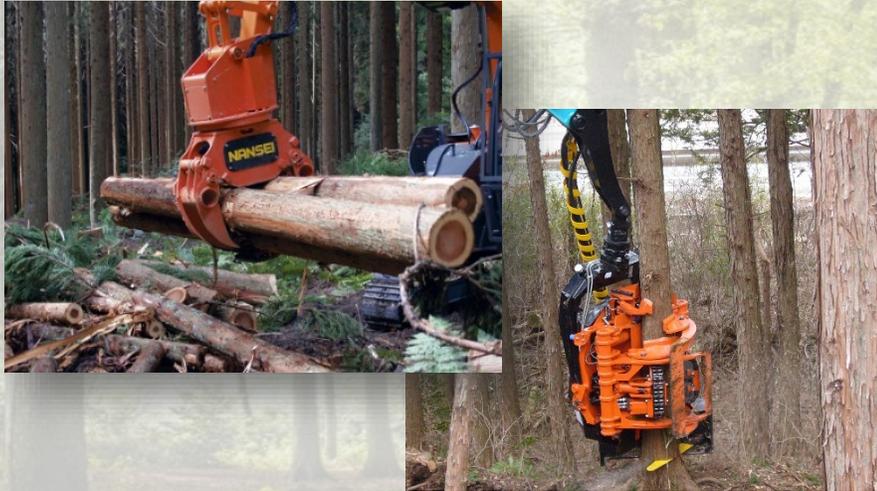


- ・木材を木片チップに切削
- ・チップはバイオマス発電等で活用

商品用途（南星機械）



【林業機械】



- ・森林にて木材を伐採
- ・枝払い、剪定、運搬までこなす

【発電所・ダム建設用 ケーブルクレーン等】



- ・道の無い山の斜面での
生コンクリート・資材等の運搬に

商品は「必ず」磨耗・修理が必要

→「自社」修理担当を持つのは当社のみ

修理

修理対応・直接販売によって得た
ユーザーニーズを開発に活かせる

設計・
開発

一気通貫

販売

製造

各ショベルメーカー・代理店へ販売
エンドユーザーにも直接販売

現場ニーズを直接把握できる

グループ会社・協力会社による製造
製造能力にアイデアが制約されない

製品の特徴



当社のこだわり

解体で特に**強度**が求められる「大割機」「鉄骨カッター」に
「**鋳鋼品(ちゅうこうひん)**」を使用

※「鋳鋼品」・・・特殊鋼を溶かして型枠に流し込み製造
繋ぎ目が無く、「製缶品」より**強度が高い**
自由に成型でき、デザイン性に優れる

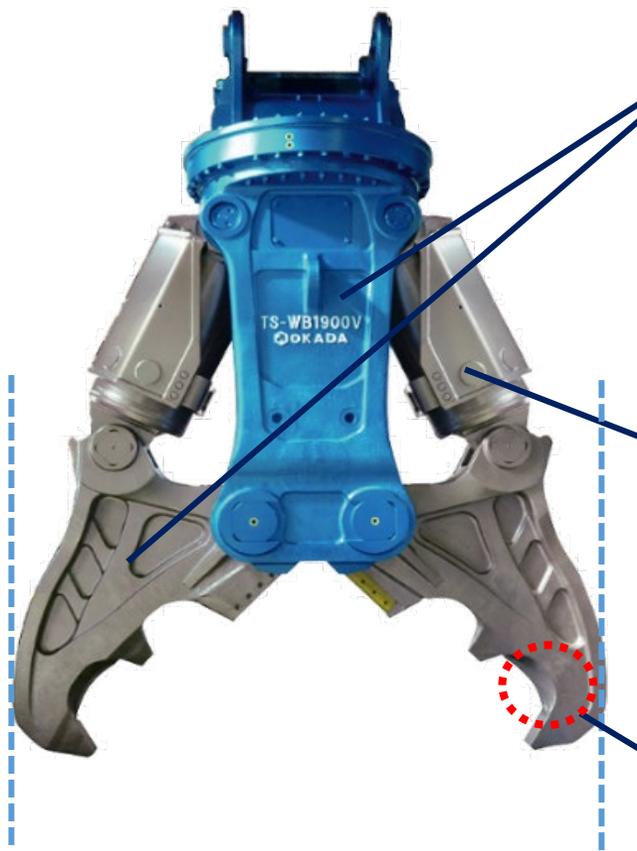
「製缶品」・・・鉄板を溶断し、溶接にて製造



シリンダーには**増速バルブ**を搭載し、**パワーとスピードを両立**

ウェッジアームの採用で**抜群の破砕力**を実現

閉じるにしたがってアームが張り出さず、**住宅密集地**でも操作可能



商品販売先（国内）

約70%

【ショベルメーカー系販売会社】（一例）



約20%

【レンタル企業】
（一例）



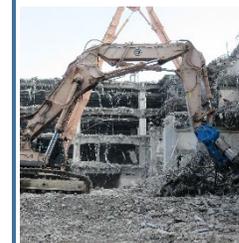
レントリ-グループ

kanamoto

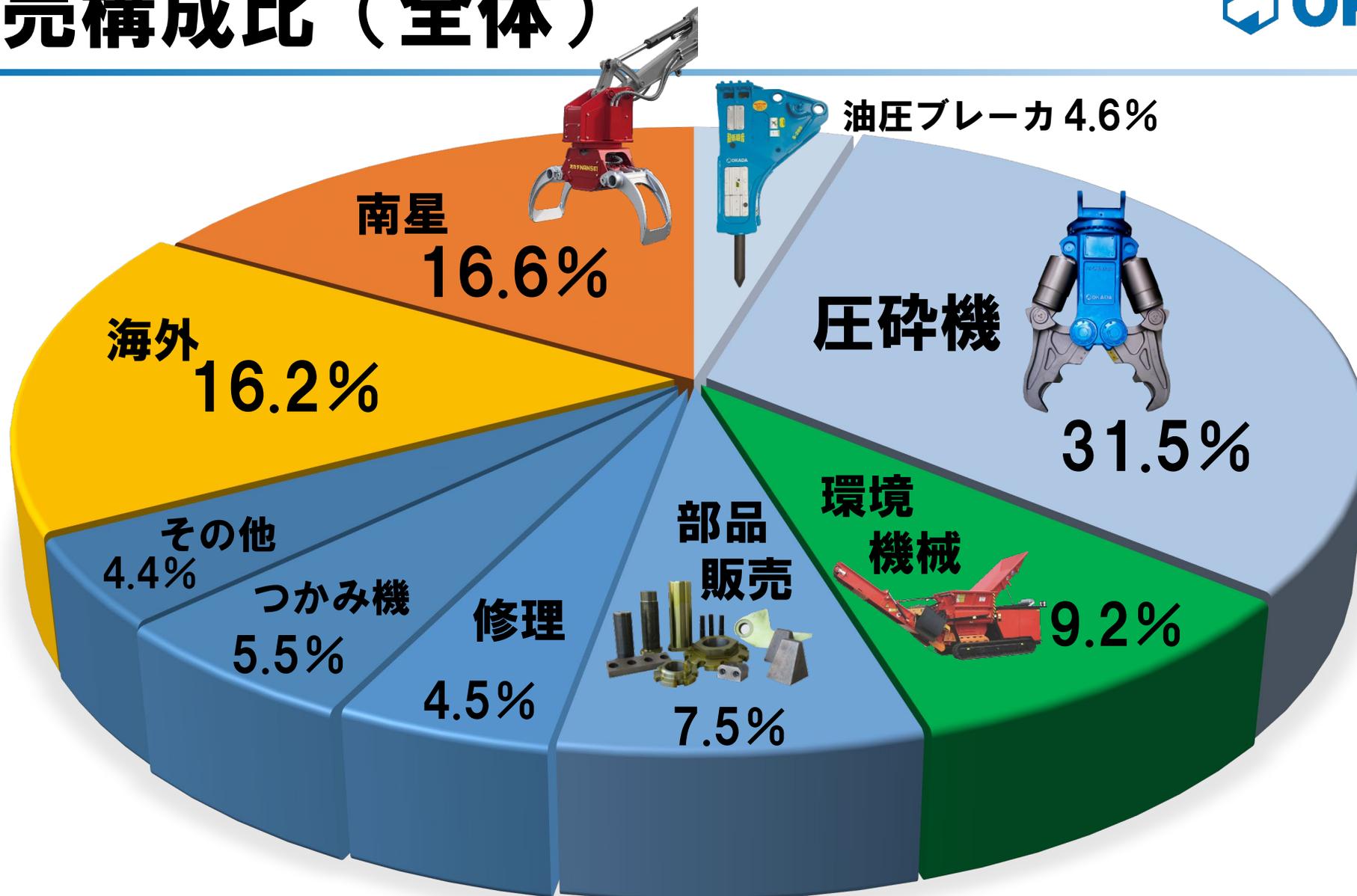
（他、各地域レンタル企業）

約10%

【解体
事業者】



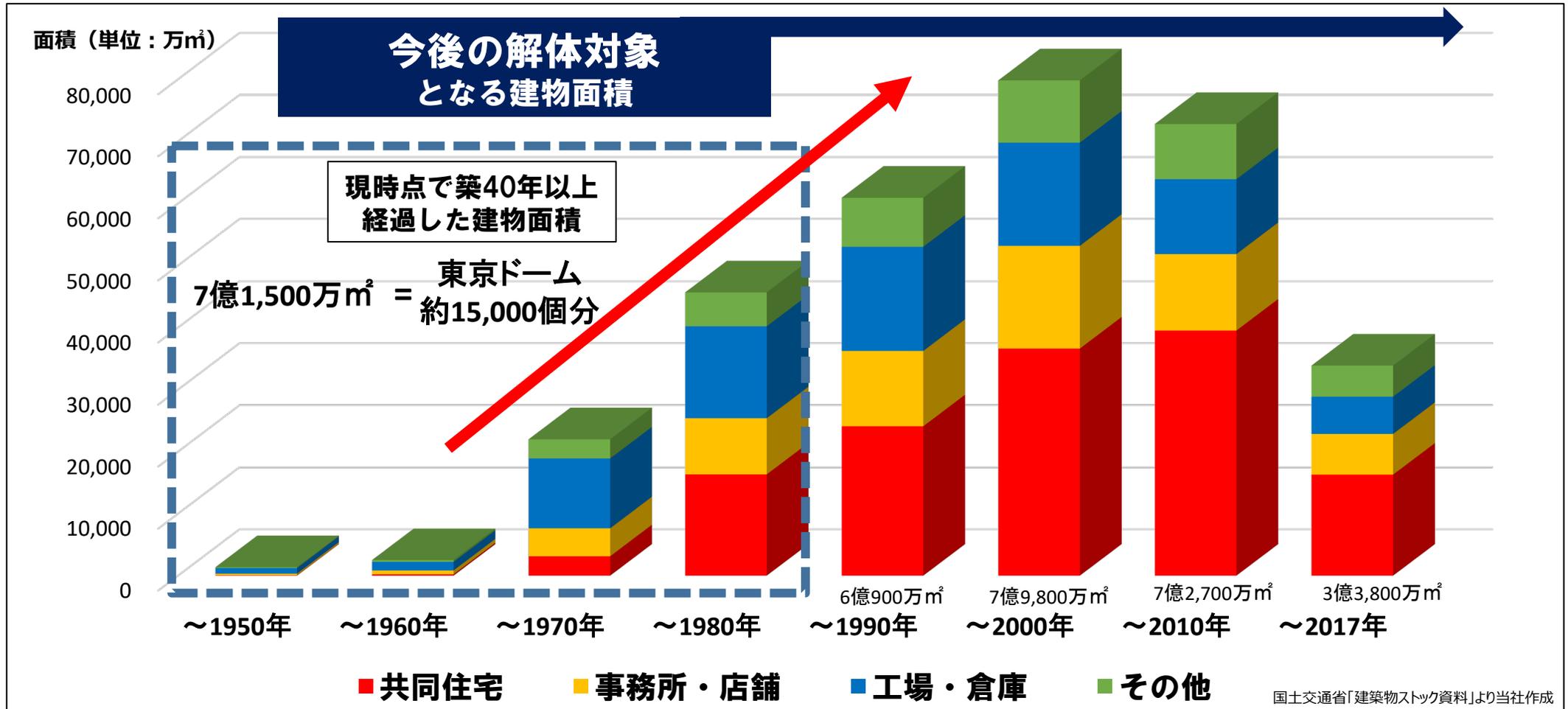
販売構成比（全体）



解体マーケット需要

非木造建物（コンクリート建物）の建築年代と建築面積

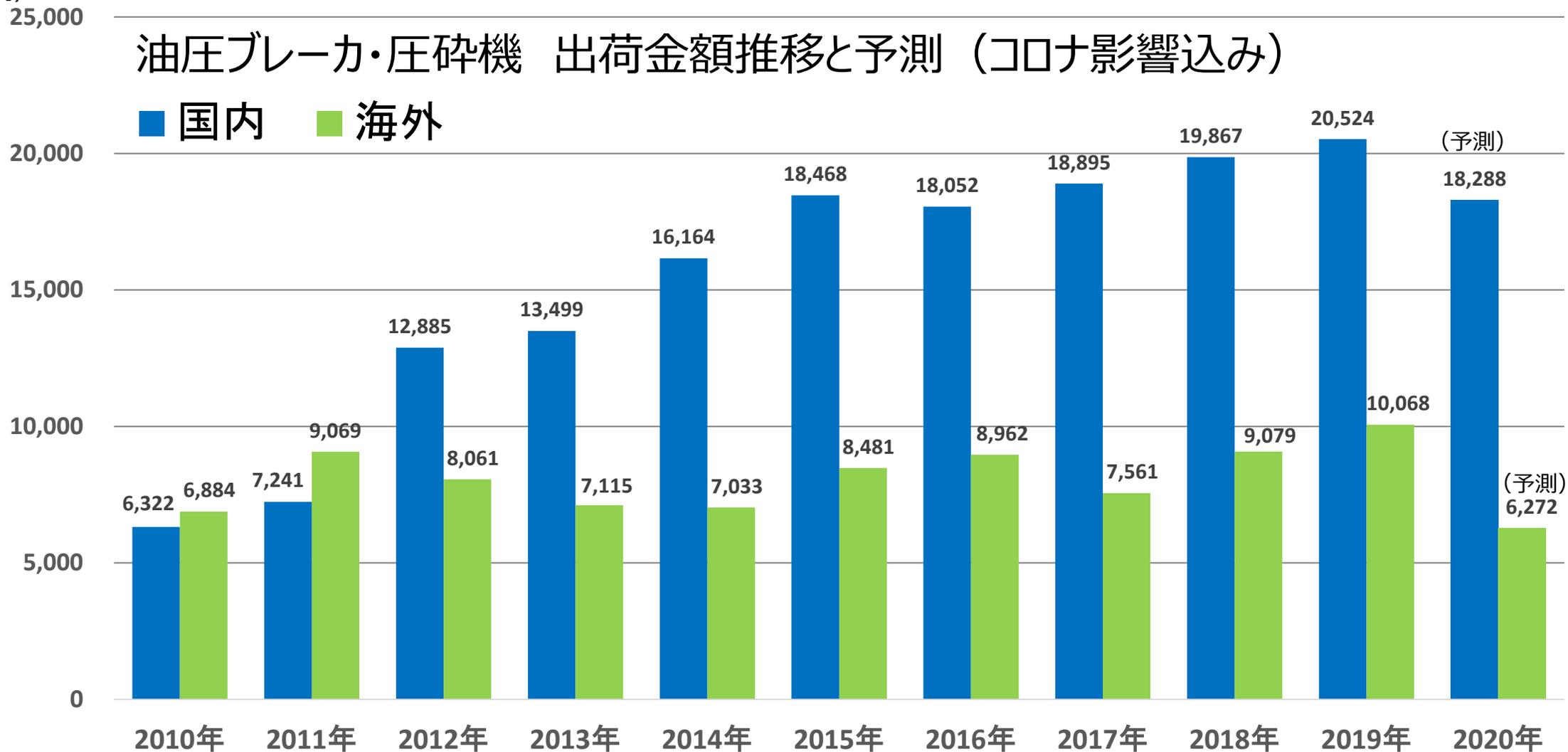
◆ 築40年以上の解体対象を見ると、解体需要はこれから本格化（毎年東京ドーム約1,500個分相当の面積が対象に）



◆ 東京ドームの床面積を46,000㎡として換算

マーケットサイズ

(百万円)

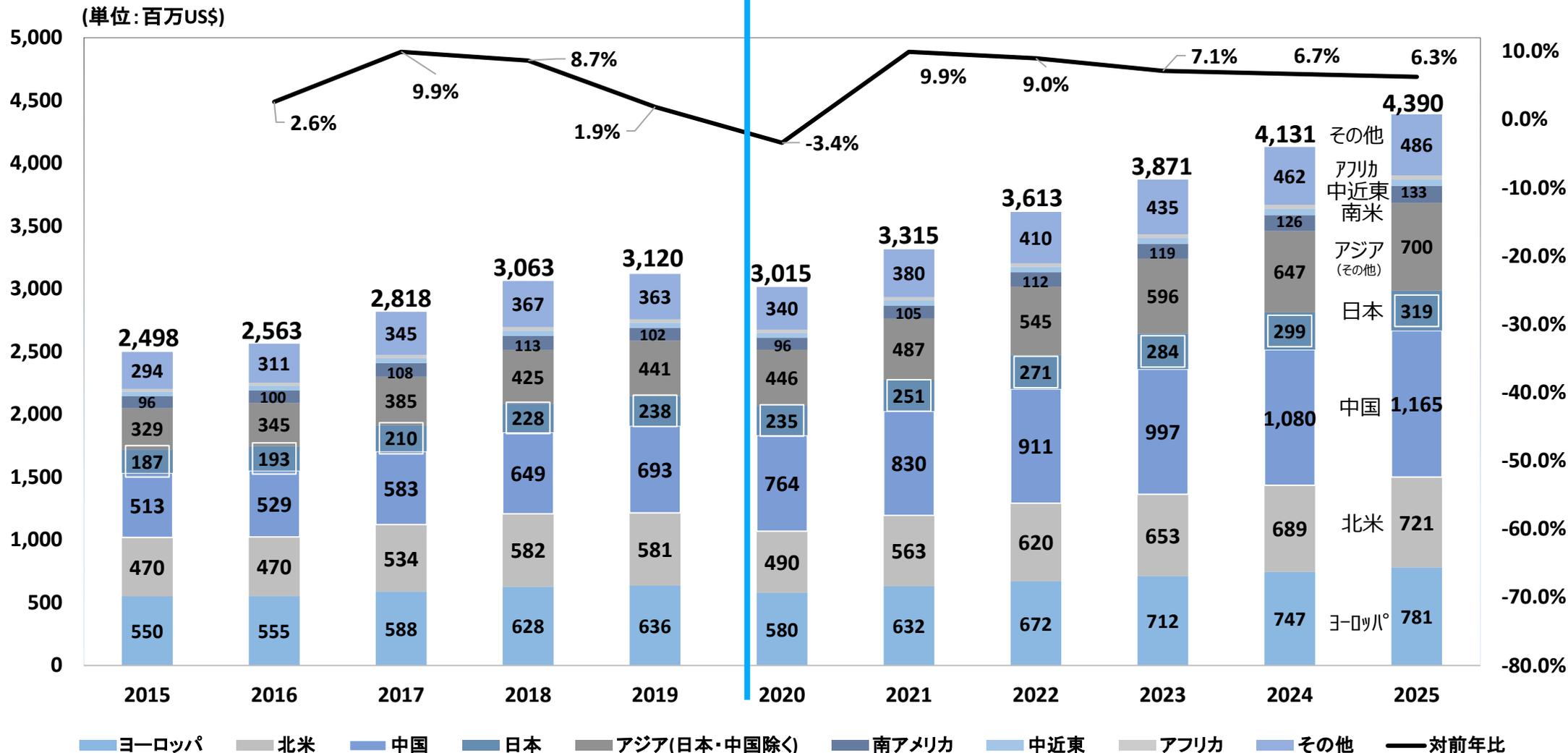


海外地域別マーケットサイズ



解体アタッチメント市場

見通し



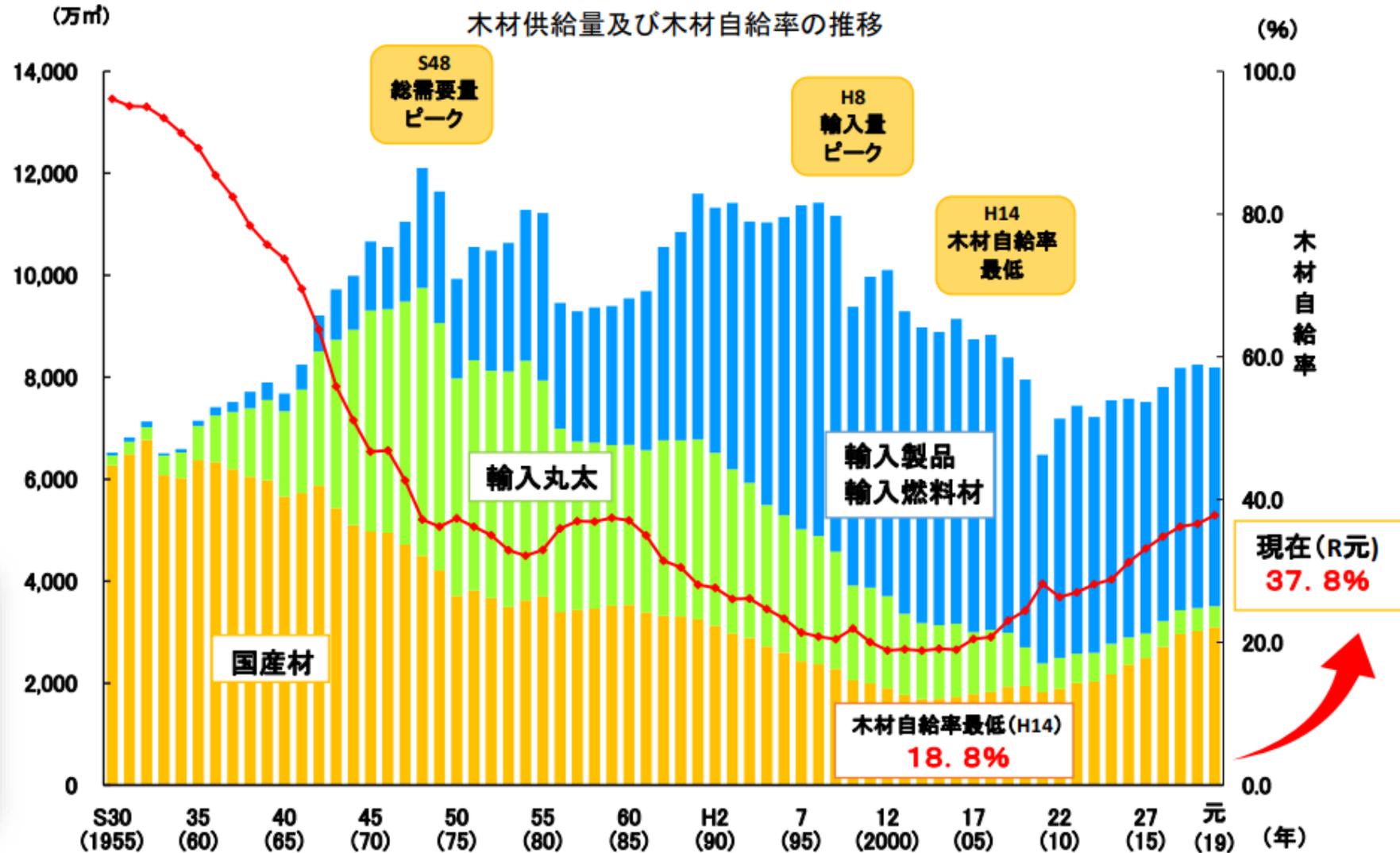
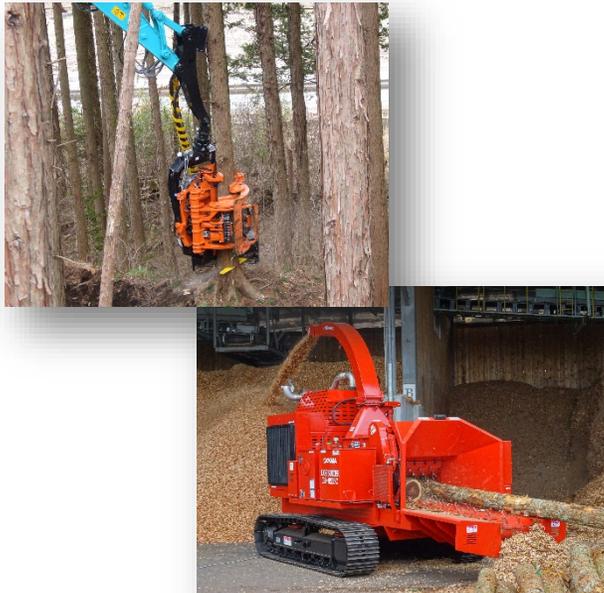
林業マーケット需要

◆木材自給率は9年連続上昇(37.8%)

➡ 平均1.2%ペースで増加

◆燃料材総需要量は前年比15.1%増

➡ 林業機械活躍の場が広がる



SDGsへの取組

都市におけるリサイクルシステムを支える解体・金属リサイクル用機械

11 住み続けられる
まちづくりを



【国土を強靱化すると共に、復興する力を】



コンクリートの寿命は40～50年とも。
強靱化には「解体」が必須



阪神大震災では高速道路が倒壊
当社商品が復興を後押し



東北震災で排出された大量のガレキを
木材破砕機で分別処理

12 つくる責任
つかう責任



【コンクリート・鉄などのリサイクル推進を】



ショベル本体に負担を掛けず
効率の良い分別も可能に



鉄スクラップのリサイクルには
南星機械のアタッチメントが活躍



廃木材、廃プラスチック、廃タイヤ等
軟質系廃棄物を処理する機械も

SDGsへの取組

国内の山地・森林資源の有効活用にご貢献する林業機械やケーブルクレーン

【森を守る為には木を切る必要があります】



伐採した木を道なき山から降ろすには
ウインチを使って運搬します



「移動」「伐採」「枝払」「切断」まで
一台でこなし、人手不足解消にも



処理しやすいサイズに大木を切断したり
根株の処理も行えます

【木質バイオマス発電や水力発電にも関わっています】



間伐材をチップにして
発電の原料に役立てる事が出来ます



ダム建設・水力発電所建設の際
資材運搬の為にケーブルクレーンが活躍



当社で使用する電力は「100%」
木質バイオマス発電由来のものです

15 陸の豊かさも
守ろう



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



「バイオマス発電」に役立つオカダ



当社使用電力は全てバイオマス由来

【購入先発電所（抜粋）】

- ・グリーン発電大分（大分県）
- ・ウツィかわい区界発電所（岩手県）
- ・白糖バイオマス発電所（北海道）
- ・中国木材バイオマス発電所（佐賀県）
- ・一戸フォレストパワー（岩手県）ほか

オカダグループ対応範囲



間伐材の伐採・運搬
(オカダ・南星商品)



木材チップ化
(オカダ商品)



燃焼・発電
(バイオマス発電所)



FIT制度

(国による固定額買取)

電力会社への売電

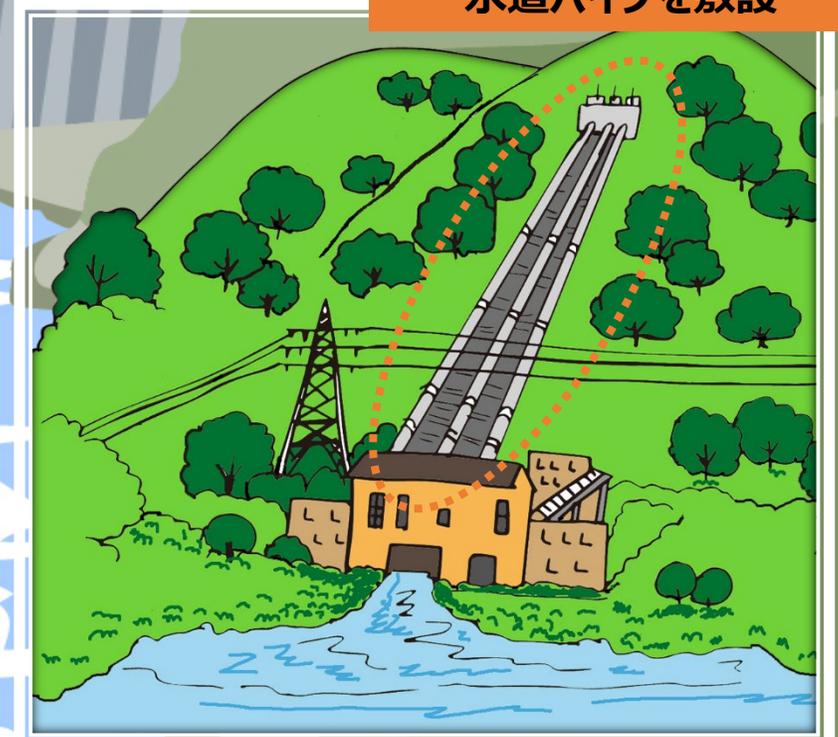
木質バイオマス発電の流れ

「ダム建設」「水力発電」にも貢献

① ダム建設時に
山と山を繋ぎ、生コンや
ショベル・資材等を運ぶ



② 水力発電所の
建造・リニューアルの際に
水道パイプを敷設



Point

ポイント解説

- ◆ 最近では「ハツ場ダム」建設にて活躍
- ◆ 今後も水力発電のリニューアル工事が続く予定
- ◆ 大型ケーブルクレーンを扱うのは南星の他もう一社のみ

◆10-12月期（3Q）は、前年同期対比売上12%増、営業利益166%増
オカダ国内、オカダ海外、南星の3セグメントともに増収増益

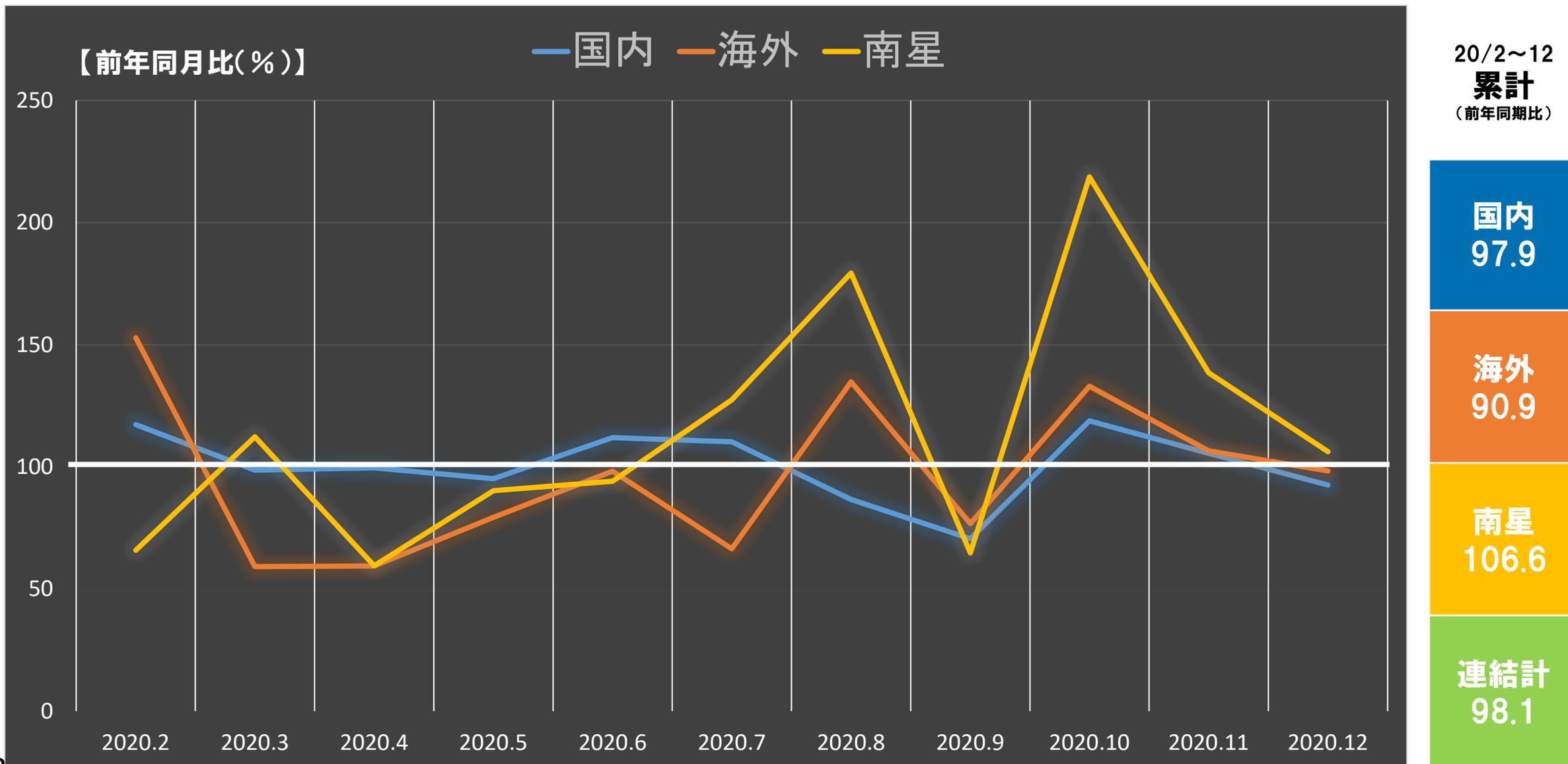
◆4-12月期（3Q迄通期）は、売上減収ながら利益は微増益、経常利益は通期予想を超過

・売上高	12,470百万円	（前年同期比	▼3.2%、	業績予想進捗率	77.9%）	
・営業利益	988百万円	（	”	+1.2%、	”	98.8%）
・経常利益	1,019百万円	（	”	+4.1%	”	101.9%）

◆再生エネルギー関連、災害復興関連需要は引き続き堅調

- ・つかみ機（前年同期比 31.7%増）… 木造解体、災害復興需要
- ・環境関連機器（” 17.4%増）… バイオマス発電向け需要
- ・ケーブルクレーン（” 46.1%増）… 水力発電所改修工事需要

コロナウイルス禍のセグメント別状況



2021年3月期第3四半期業績及び通期見通し

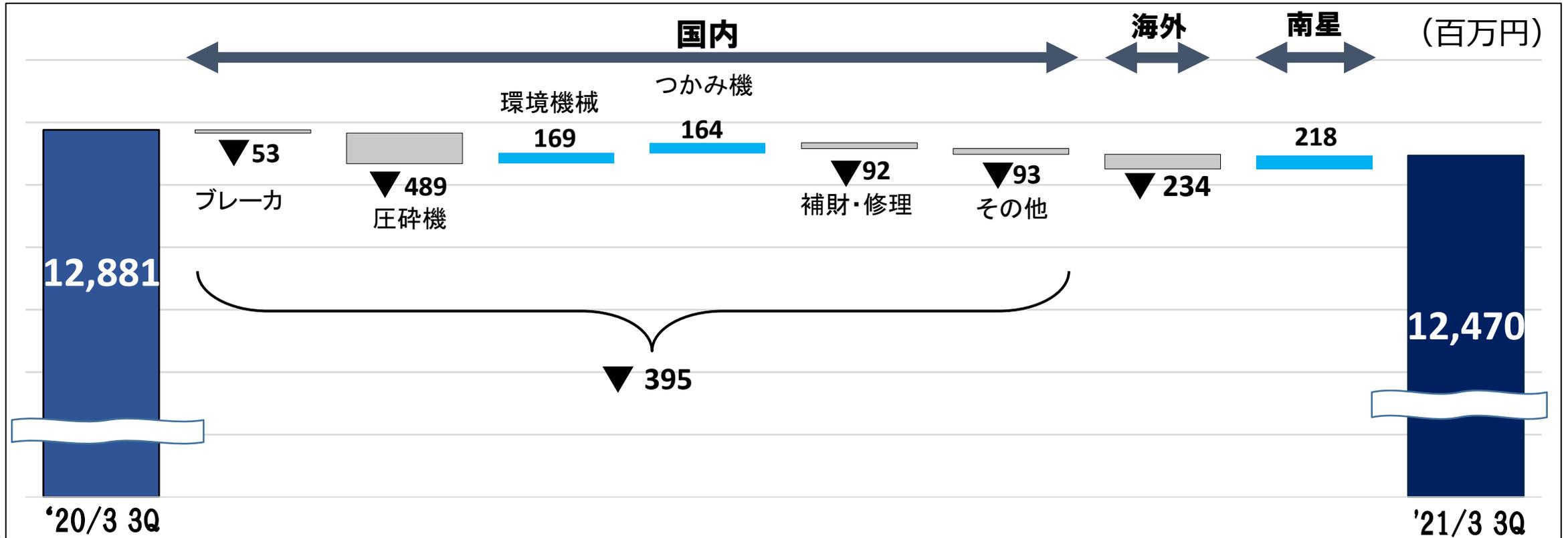


(百万円)

	21/3期 3Q実績			21/3期 3Q実績 (累計)			21/3期 見通し (2020/8/7公 表)	進捗率 (%)
		前年 同期比 増減 (額)	前年 同期比 増減 (%)		前年 同期比 増減 (額)	前年 同期比 増減 (%)		
売上高	4,014	429	12.0	12,470	▼410	▼3.2	16,000	77.9
売上総利益	1,104	101	10.1	3,550	▼220	▼5.9	—	—
販売費及び 一般管理費	852	▼56	▼6.2	2,562	▼232	▼8.3	—	—
営業利益	252	157	165.8	988	11	1.2	1,000	98.8
経常利益	260	174	201.5	1,019	40	4.1	1,000	101.9
四半期純利益 (当社株主帰属)	146	121	474.1	606	26	4.6	650	93.3

売上高増減要因

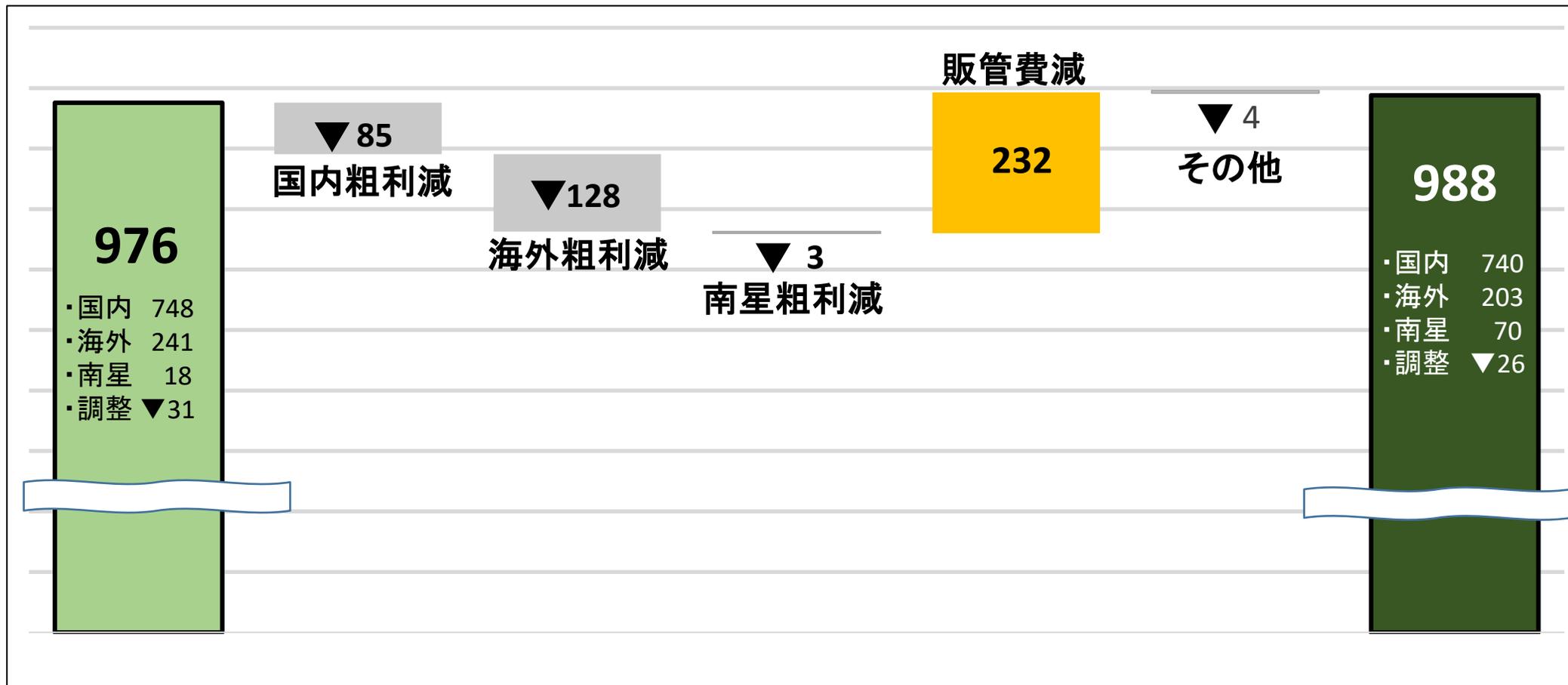
- 国内は、コロナ影響による買い控え影響あるも、環境機械・つかみ機好調
- 海外は、米国は減収だがやや持ち直し傾向、現法化した欧州・新機種投入アジアは回復傾向
- 南星は、林業機械は微減も、金属スクラップ・ケーブルクレーン等が好調



営業利益増減要因

- 減収ながらも増益確保、海外で米国減収影響が大きい一方、南星で前期比大幅増
- 接待費・出張費の抑制運用や、会議リモート化により経費削減に注力

(百万円)



機種別売上（3Q推移）



(百万円)

		'19/3期 3Q	'20/3期 3Q	'21/3期 3Q	前期比		前々期比
					金額	増減(%)	増減(%)
	ブレーカ	596	628	575	▼53	▼8.5	▼3.5
	圧砕機	4,574	4,415	3,925	▼489	▼11.1	▼14.2
	環境機械	923	973	1,143	169	17.4	23.8
	つかみ機	408	520	684	164	31.7	67.6
	補材・修理	1,438	1,588	1,495	▼92	▼5.8	4.0
	その他	553	649	556	▼93	▼14.4	1.3
	国内計	8,492	8,775	8,380	▼395	▼4.5	▼1.3
	海外計	2,473	2,254	2,020	▼234	▼10.4	▼18.3
	南星計	1,945	1,851	2,070	218	11.8	6.4
	連結計	12,911	12,881	12,470	▼410	▼3.2	▼3.4

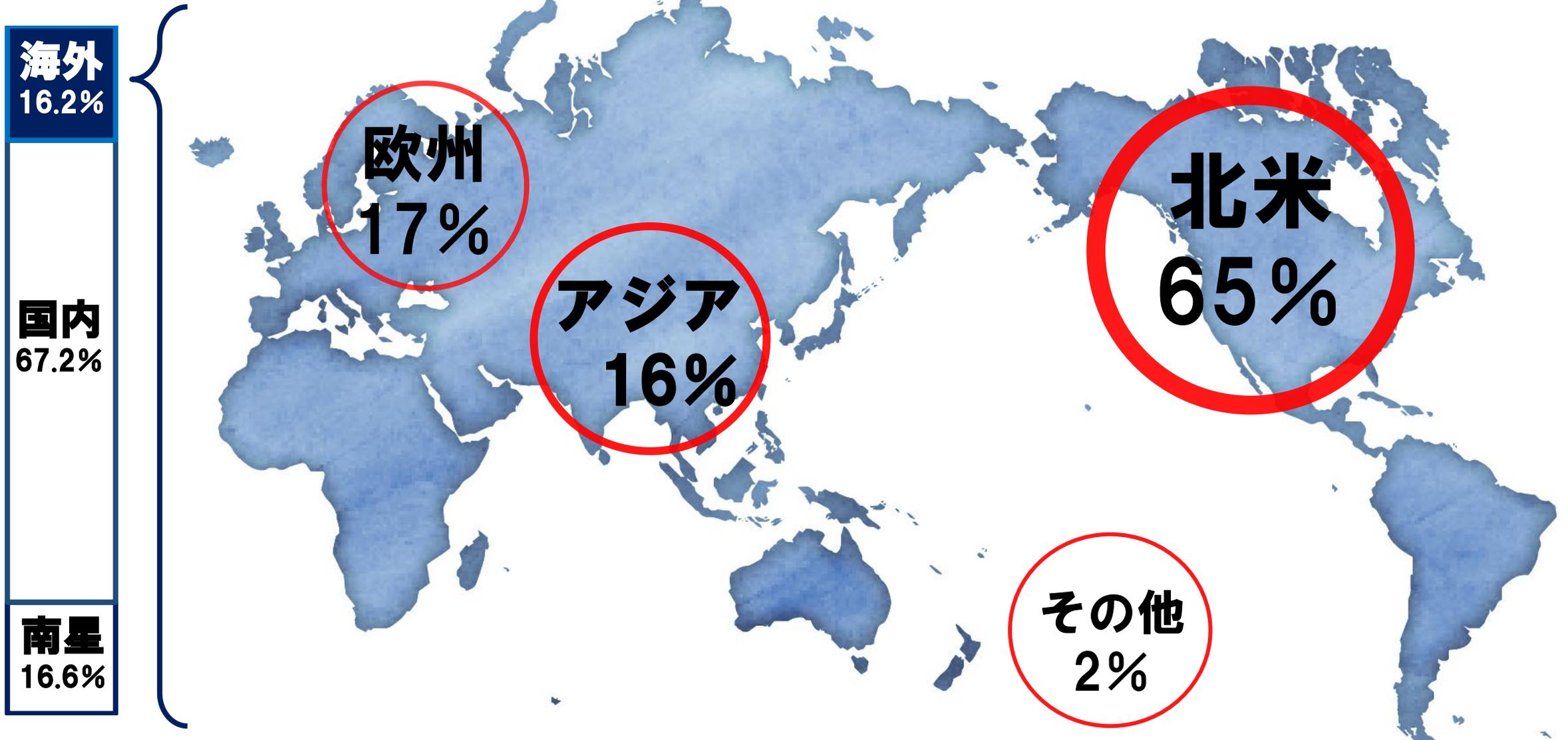
地域別売上（国内3Q推移）



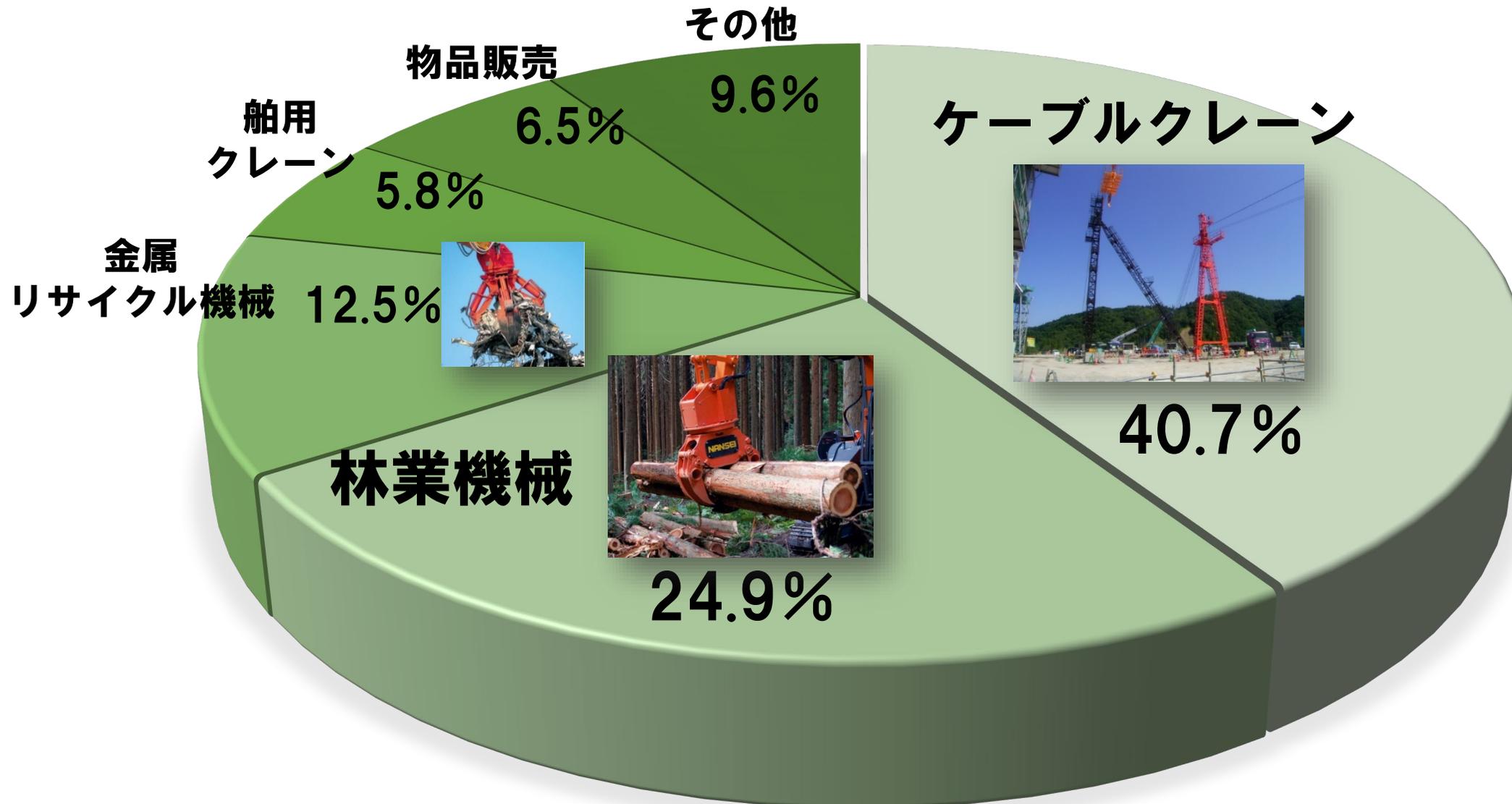
(百万円)

	'19/3期 3Q	'20/3期 3Q	'21/3期 3Q	前期比		前々期比 (%)
				金額	増減 (%)	
北海道	359	284	382	98	35	6.4
東北	1,017	929	997	68	7.3	▼2.0
関東	2,782	2,738	2,324	▼414	▼15.1	▼16.5
中部・北陸	984	1,139	1,255	116	10.2	27.5
関西	1,123	1,327	1,145	▼182	▼13.7	2.0
中国・四国	841	994	719	▼275	▼27.7	▼14.5
九州	1,065	1,151	1,339	188	16.3	25.7
その他（本社扱）	318	208	219	11	5.3	▼31.1
国内計	8,492	8,775	8,380	▼395	▼4.5	▼1.3
海外計	2,473	2,254	2,020	▼234	▼10.4	▼18.3
南星計	1,945	1,851	2,070	218	11.8	6.4
連結計	12,911	12,881	12,470	▼410	▼3.2	▼3.4

海外販売先 内訳



販売構成比（南星）



南星・機種別売上（3Q推移）



(百万円)

	'19/3期 3Q	'20/3期 3Q	'21/3期 3Q	前期比		前々期比
				金額	増減 (%)	増減 (%)
ケーブルクレーン	514	576	842	266	46.2	63.8
林業機械	633	551	515	▼36	▼6.5	▼18.6
鉄・スクラップ	182	221	259	38	17.2	42.3
船用クレーン	166	124	121	▼3	▼2.4	▼27.1
物品販売	290	214	135	▼79	▼37.0	▼53.4
その他	160	162	193	31	19.1	20.6
南星計	1,945	1,851	2,070	218	11.8	6.4
連結計	12,911	12,881	12,470	▼410	▼3.2	▼3.4

トピックス①：国内拠点の充実

【拠点リニューアル推移】

2015年：アイオンテック増設

2017年：北陸営業所移転新設

2019年：四国営業所移転新設

2020年：湘南営業所移転新設（10月）

：九州営業所第二工場兼倉庫（※）

2021年：中部営業所建替え（※）

：広島営業所移転新設（※）

2022年：仙台営業所移転新設（※）

（※）は計画中

◆横浜営業所を「湘南営業所」として移転新設

- ・省人化対応のための機械大型化に伴い、クレーン設備の充実が急務
- ・今後も引き続き全国各地の営業所リニューアル予定



トピックス②：海外での製造開始

◆ベトナムでの製造開始（2021年度中）

- ★ビンズン省ミーフック第3工業団地内
（ベトナム南部最大級の工業団地）
- 世界共通モデルでボリュームメリット追求
- 日本、アメリカ、欧州等に出荷予定



【参考モデル】
TOPV-50



【参考モデル】
TOP-32

画像出典：wikipedia

トピックス③：「オカダ大展示会」開催



◆さいたまスーパーアリーナにて
2021年6月2日（水）～3日（木）開催予定

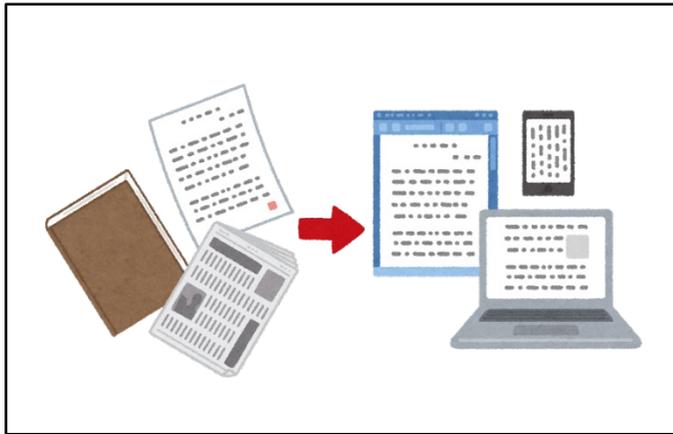


※昨年実施の内覧会の模様

国内全ショベルメーカー、当社協賛メーカーが
参加する、**初の単独展示会**を開催予定

トピックス④：社外・社内間コンタクトの充実

コロナ禍においてもお客様・社内間の連携を取る為の対策を実施しています



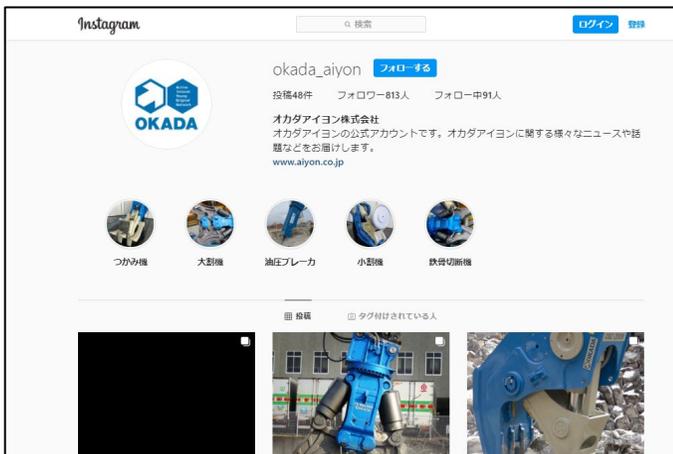
◆注文書/契約書の電子化推進



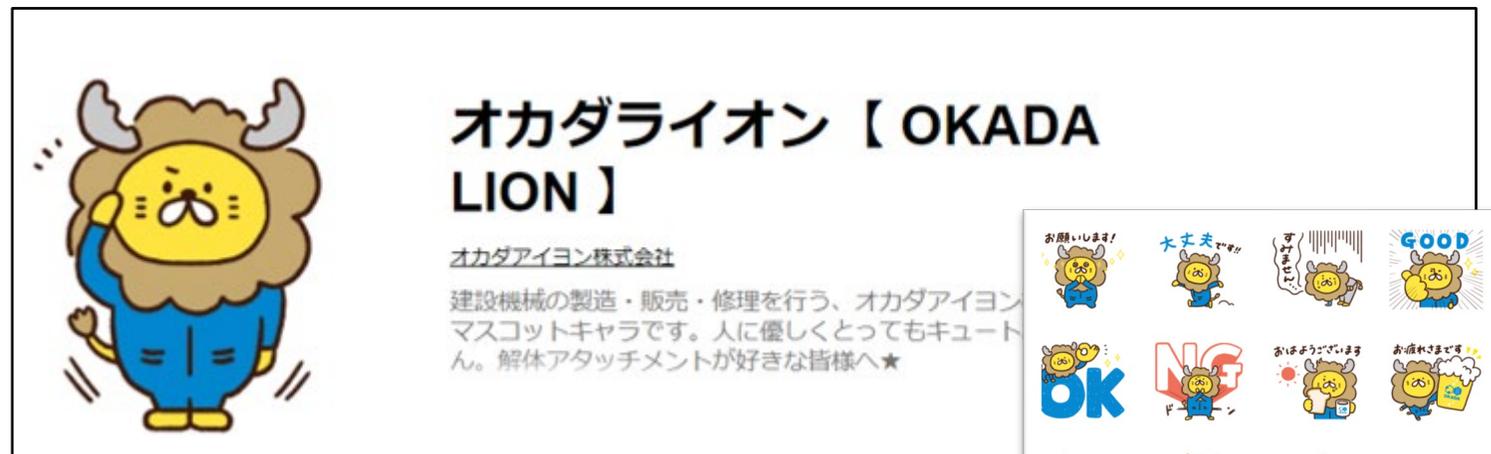
◆オンライン商談の実施



◆集合研修のWEB化



◆Instagramでの情報発信



◆LINEオリジナルスタンプ制作

<注意事項>

本資料中の予想は、決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は今後種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。